

## 芦屋市環境処理センター運営協議会(6/13)からの意見等

項目	意見等	対応・考え方
安全衛生管理計画	<p>施設の火災対策の一つとして、リチウム電池混入による火災を防止するため、“処理前の選別実施”“火災等確認センサー設置”等を掲げているが、リチウム電池による火災は発生しているのか。</p> <p>また、新施設ではどのような設備を考えているのか。</p>	<p>リチウム電池が持ち込まれた場合、手選別により除外しているため、本市での火災発生事例はありませんが、他自治体での事例は報告されています。</p> <p>新施設には消火設備等の整備が必要であると考えています。</p>
公害防止計画	<p>現施設に係る協定基準値は、法令等による数値に比べ厳しいものとなっており、環境処理センターでは様々な工夫・対策を講じながら維持管理運営をされている。こうした市の取組み姿勢を、市民にPRしてはどうか。</p>	<p>[現施設の協定基準値][法令等による排出基準値][新施設と同等規模施設の自主基準値(最頻値)]を参考に、新施設の協定基準値(案)を検討しているところであり、基準を設けた上で新施設の維持管理運営を行っていきたいと考えています。</p>
	<p>新施設に係る協定基準値(案)の達成に向け、今後、施設整備内容の検討が行われ費用対効果等も明らかになるのか。</p>	<p>施設整備基本計画検討委員会において、今後、検討することとしています。</p>
	<p>新施設の計画にあたっては、最新の法令・基準等を把握しながら進めて下さい。</p>	<p>法令・基準等の改正、また最新技術の動向等の情報を把握しながら、計画の策定を進めていきます。</p>
その他	<p>以前、焼却施設排ガス中の水銀濃度の超過、また、スプレー缶のパッカー車への混入により火災が発生した。これらの原因の一つとして、過去に、ごみの分別・出し方の変更に関して誤解しやすい表現があった。丁寧に啓発した方が良い。</p> <p>(スプレー缶の例:「中身を空にして、穴を空けて出す。」を「穴を空ける行為自体が危険であるため、中身を使い切り、穴を空けずに出す。」に変更した際、“穴を空けずに出す。”の部分のみを捉えた市民・事業者がおられた。)</p>	<p>市民・事業者の皆さまには、ごみの分別・出し方について、より分かり易く、丁寧に周知・啓発を行っていきます。</p>